

夏期栽培に適したミズナ品種の検討

農業総合研究所では夏場のミズナの品質向上策として、品種の検討を行っています。試験では、府内に広く普及している「城南千筋」を含め、8品種について比較検討していますが、これまでの結果から、研究所内では「城南千筋」に加え、「早生千筋」、「夏城南」が有望と考えられました。

9月10日には農産流通課、ふるさと産品協会、全農京都、JA中央会の関係者を交え、有望品種について、ほ場での生育状況や収穫物の品質について検討を行いました。関係者間では「城南千筋」が最も生育が早く、品質も優れること、また「夏城南」も生育が遅れるものの、高温期の栽培では株張りに優れることが確認できました。



栽培ほ場における生育状況の検討

収穫物の品質検討

